

### まちづくり基本目標

- ◇将来を担う人が育つまちをつくる
- ◇安心して生活できるまちをつくる
- ◇賑わいのあるまちをつくる
- ◇暮らしやすいまちをつくる



発行・町田市 編集・政策経営部広報課  
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22  
市役所の代表電話 042・722・3111  
市役所の窓口受付時間 午前8時30分～午後5時  
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)  
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



携帯電話用QRコード

## 今号の紙面から

4面

大相撲九州場所  
芝力士が幕下全勝優勝

## 地域コミュニティバス

2月1日  
から

### 玉ちゃんバス

# 南ルートが運行開始



問小田急バス株式会社お客様センター☎03・5313・8330、玉川学園コミュニティバス推進委員会☎725・0438、町田市交通事業推進課☎724・4261 FAX050・3161・6322



現在、玉川学園地区では、小田急線玉川学園前駅を起終点として、交通空白地区を周回するコミュニティバス「玉ちゃんバス」を2路線(北ルート・東ルート)運行しています。

このたび、3路線目となる南ルートを新たに運行することとなりました。

なお、見通しの悪い急カーブの箇所には「対向車接近表示システム」を3か所に設置し、交通の安全性を確保します。

○運行経路 玉川学園前駅南口を起終点として、玉川学園7丁目・8丁目を周回する約2.6kmのルート(左図参照)

○運賃 大人⇨現金180円・ICカード175円、小人⇨現金90円・ICカード88円

※障害者手帳をお持ちの方は半額です。また、シルバーパスもご利用いただけます。

○運行開始日 2月1日(月)

○運行事業者 小田急バス株式会社

※運行時刻は、各バス停留所、または小田急バス株式会社ホームページで、運行開始の1週間前から掲示します。

その他詳細は、バス事業者へお問い合わせ下さい。

※現在、一般乗合旅客自動車運送事業の許可申請中です。

『大变身!めたねこムーニャン』  
裏表紙イラスト©石坂啓

1964年から約19年間町田市に居住した山中恒氏は、児童読物作家としてたくさん子ども向けエンターテインメント作品を執筆しています。

「今」を生きている子どもたちの、ありのままの感情や言葉を軽快に描きだすこれらの作品は、子どもたちから絶大な支持を得ています。『ぼくがぼくであること』、『あはれはつちやく』、『おれがあいつであいつがおれで』など、映画やテレビドラマなどになった作品も多くあり、幅広い年代に親しまれています。

本展では、山中氏の創作活動の原点から現在までの歩みをたどり、魅力あふれる作品の数々を紹介します。

町田市民文学館  
児童読物作家  
山中恒 展  
子どもと物語で遊ぶ展

### 関連イベント

「講演会」山中恒作品の魅力ー子どもに人気の理由を探る

なぜ山中作品が子どもたちに愛されるのか、児童文学評論家・野上暁氏に語っていただきます。

○日時 2月6日(土)午後2時～3時30分

○会場 同館

○定員 80人(申し込み順)

○申し込み 1月11日正午から

「ぼくがぼくであること」カバー袖イラスト©庭

○会期 1月16日(土)～3月21日(振休)

○休館日 月曜日(3月21日は開館)、2月12日(金)、3月10日(木)

○観覧時間 午前10時～午後5時

ら電話でイベントダイヤル(☎724・5656)へ。

「映画」あゝ、夏の日〜とんでろじいちゃん」トークショー&上映会

山中氏の『とんでろじいちゃん』が原作の映画上映に先立ち、同作監督の大林宣彦氏と山中氏に、作品に込めた思いや撮影秘話を語っていただきます。

○対象 小学生以上の方

○日時 2月27日(土)午後1時～3時30分

○会場 町田市民フォーラム

○定員 180人(抽選)

○申し込み 往復ハガキに申し込み者全員の住所・氏名・電話番号・年代を明記し、2月6日まで(必着)に同館「山中恒展映画上映会」係(〒194-0013、原町田4-16-17)へ。

「グラマはかせのなぜ」表紙イラスト©原ゆたか

「担当学芸員によるギャラリートーク」

直接会場へおいで下さい。

○日時 1月26日(火)、2月14日(日)、3月8日(火)、3月21日(振休)、いずれも午後2時から40分程度

○会場 同館2階展示室

問同館☎739・3420 FAX739・3421

「とんでろじいちゃん」イラストカット ©堀田あきお